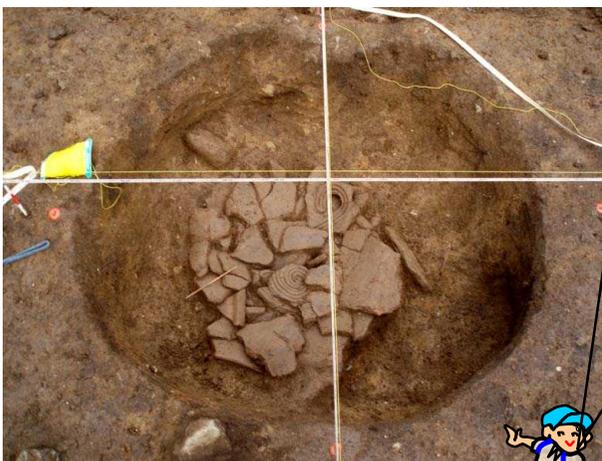


# 女夫石遺跡発掘調査速報

## No.38

さー今回は、竪穴住居じゃなくて、家の外に作られた穴のお話しです。テレビや新聞で遺跡を見ると竪穴住居以外の場所も穴ぼこだらけなことが多いですよ。土器や石器などが出てこない穴もありますが、出てくるものもあります。こんな穴を専門用語では土坑(どこう)とかピットと呼んでいます。両者の違いは大きさですが、明確な基準は実はありません……。女夫石遺跡ででてきた土坑を今回は紹介します。



丸く掘られた穴の底に土器の破片がぎっしりとあります。一つの土器が壊れているようですが、破片が表だったり、裏だったりするので破片にしてから土器を穴の中に入れたようです。ちなみに復元すると下の図のようなものになると考えられます。

この土器の上には石が一杯詰まっています。食べ物を保管する貯蔵穴(ちょそうけつ)なら壊して土器は入れないし、お墓だとしたら亡くなった人が入るスペースがないような気がするし……。一体、何のために女夫石縄文人は土坑に土器や石を埋めたんだろうね？

ところで、土器なんかが出てくる土坑と出てこない土坑にはどんな違いがあるんだろうね？



沢リ: 竪穴住居跡以外にもたくさん穴があるね。大きい穴や小さい穴や色々だね。しかも、土器や石器がでるものとでないものもあるね。

マキ: 大きい穴は土坑(どこう)、小さいのはピットって呼ぶらしいよ。

沢リ: 土坑は何のために作られたんだろうね？

マキ: 食べ物なんかを保管(ほかん)する貯蔵穴(ちょそうけつ)とか、亡くなった人を埋葬(まいそう)するための墓墳(ぼほう)とかが主なものだと考えられているんだってさ。

沢リ: お墓だとしたら、土器や石器が出るとか出ないとかで何か違いがあるのかな？出る方に埋葬された人は特別な人だったとかさ！

マキ: 確かにそうかもしれないけど、縄文時代は土器や石器だけを使っていたんじゃないくて、木器(もっき)や骨格器(こっかくき)なんかも使っていたんだよね。

沢リ: そっか、木器とかは腐ってしまうから、発掘されることはほとんどないもんね。発掘ででてこないから、土坑に何もなかったとは言い切れないんだよね。

マキ: そうだね、だから土坑の中の土も細かく分析する必要があるんだよ。槌を洗うと、普通に掘っていたら見落としてしまうような物も発見できて、それから色々考えられるんだよ。

沢リ: 土にも女夫石縄文人を知る大切な情報が残っているんだね！(つづ)



上の写真を見ると一ヶ所に石がまとまっているように見えますが、実は2つの土坑が重なっているものです。

左側は土坑の底に石を敷いて、穴の側面に石をならべているみたいです。その中に土器の破片が置いてありました。

右側は石の下に土器の口縁部(こうえんぶ)が見えているので、下に土器が埋められているようです。現在調査中なのでしばらくしたら、はっきりと土器が現れるでしょう！

